

空調タイムズ

THE AIR-CONDITIONING TIMES

購読料一ヵ年19,440円 発行日毎週水曜日

会社空調タイムズ社
(〒105-0013)
浜松町2-3-29
(磯山第2ビル)
東京3433局6501
3433-6505
(〒530-0015)
西1-4-22(梅田東ビル)
大阪6312局6061
http://ac-times.com

流動浸漬法によるコーティング鋼管のパイオニア、流浸工業(社長川大久保幸廣氏、本社・大阪府堺市美原区大保225)が自社ブランドで展開する「リユースコート」の需要拡大に拍車がかかっている。関東地区の大型施設、都市部の再開発プロジェクトをはじめ、

新築物件や既設配管設備の改修案件などで採用が相次いでいるもの。都市部の再開発プロジェクトでは口径400A、450Aといった大口径の受注が多く、受注そのものの大型化傾向も鮮明さを増している。

流浸工業

大規模案件で強み発揮

コーティング管 「リユースコート」受注続伸

量的拡大が続く現状を組んできたが、ここに至るまで関東事業部・大久保秀俊(2015年1月56)は前年同期比二桁増。特に関東地区は大規模建築物で多く採用した

だいており、今期に入って急カーブを描いている。地域別で見ても関東は過去最高の実績」と話している。多孔隙の隔壁を設け、ここに圧力をかけた空気を注入、圧力で隔壁上部の粉体を均一に浮かす。こ

の流動層に加熱した基材を浸漬することでピンホールのない均一な塗膜(膜厚200μ以上)を形成するという技術。ナ

樹脂を流動浸漬法により鋼管の内外面にコーティングする「リユースコート」、同工法を用いて6tスパイラル鋼管に塩ビコーティングを施す「リユースコートLight」、1.6tのダクトに

塩ビコーティングを施す「リユースコートダクト」などを手がけている。なお、同社は先ごろ「リユースコートLight」と「リユースコートダクト」の名称をリユースコートLightに統一した。

は、板厚6tの薄型フラッシュの使用により、大幅な軽量化を実現しており、施工のスピードアップを実現。腐食に強く耐候性にも優れ、臭突管や排気管などの配管腐食対策に適する。口径は150A〜500Aまで対応

関東、名古屋を中心とした地域での採用事例が増しているが、西日本でも大型複合商業施設やテ